

徳島県の河川の概要

徳島県には、東西にのびる吉野川、那賀川及びこれらの支派川で形成する一級水系のほか、四国山地から東流して太平洋に注ぐ数多くの二級水系があります。

本県の一級河川は、吉野川、那賀川水系の368河川があり、総延長は約1,520kmとなっています。また、二級河川は39水系の129河川があり、総延長は約440kmとなっています。

河川の形状は、四国特有の急流河川であることから流出率が非常に高く、過去には洪水による数々の災害を引き起こしています。

河川を地区別にみると、県西部の河川は、吉野川とその支川で形成され、多くの川は川が運んだ土砂によってできた扇状地の中を流れる天井川となっています。

県中央部の吉野川に流れ込む支川は、勾配もゆるやかとなって、徳島平野の中を流れ、洪水時には本川の水位が上がると、自然流下が難しくなります。

那賀川水系及び県南の各河川は、その流域の複雑な山地地形と太平洋気流の影響をうけて、しばしば局地的な集中豪雨を受けることから、比流量が大きいといった特徴を持っています。

また、紀伊水道に面した吉野川、那賀川の両デルタ地帯の臨海部の平野は、南海地震により地盤が沈下したため、この地域の河川は潮の干満の影響を受けやすくなっています。

徳島県の河川数及び河川延長

種別	水系名	河川数			河川延長(km)		
		全体	国管理	県管理	県管理区間	国管理区間	小計
一級河川	吉野川	293	8	291	1,031.684	125.820	1,157.504
	那賀川	75	6	74	308.437	52.407	360.844
	小計	368	14	365	1,340.121	178.227	1,518.348
二級河川	39水系	129	0	129	439.857	0	439.857
合計	41水系	497	14	494	1,779.978	178.227	1,958.205

(注) 河川数について、吉野川・那賀川・桑野川等は国・県でそれぞれに含める。